

明政・自由クラブ

野母崎地区海岸活用計画の推進

問 野母崎地区海岸活用計画における田の子地区、脇岬地区については、国

道499号の整備が終了する平成28年度までの完成を目指して事業展開を図るべきと思うが、見解を伺いたい。

答 野母崎地区海岸活



▲田の子地区

用計画は、野母崎地区の大きな魅力である海岸線を活用し、観光客を初め地域を訪れる方に野母崎地区全体を回遊していただくことによりにぎわいを創出し、交流人口の拡大による地域の活性化を図ることを目的に、平成22年度に策定された。現在、地区の玄関口に当たる高浜海岸の整備を行っているが、田の子海岸及び脇岬海岸については、国道499号が整備されると野母崎地区へのアクセスがよくなることも念頭に置きながら、タイミングを逃さないよう海岸活用計画を着実に進めていきたい。

観光政策

問 新たな観光政策として、瀬戸内国際芸術祭のような、国際的な芸術イベントを開催する考えはないか。

答 本市における芸術文化の振興については、市民が音楽や美術などの質の高い芸術文化に身近に触れ、心豊かな生活を実感する機会を創出することも、市民の主体的な芸術文化活動が活性化することを目指し取り組んでいる。心の豊かさやつながりの大切さが見直されている今、芸術文化の推進による観光客誘致といった視点は重要と思われるので、他都市の事例等も参考にしながら、市民や観光客の皆様の心に残るような長崎のオンリーワンの魅力を発信できる、文化と観光が融合した施策の推進に取り組みたい。ご質問の長崎国際平和芸術祭については、内容及び財源の問題も含めて、被爆70周年事業の取り組みの中で検討したい。

職員の不祥事

問 本市では職員の不祥事が多発していることから、危機的状況と捉え、今後の取り組みに対する覚悟のほどを伺いたい。

答 再びこのような事件が発生し、市民の皆様の信頼を裏切る結果となり、改めて深くお詫び申し上げます。

再発防止策として、組織としては、仕組みの見直しやチェック体制の強化、個人に対しては、公務員倫理等の研修や不祥事の事例について、原因や防止策を職場で話し合うケーススタディーの実施を行ってきた。また、年に1回サービスの宣誓書を読み上げさせる取り組みや、職員健康相談室に新たに相談員2名を配置し、職員のさまざまな相談に対応できる体制の拡充を図ってきた。今後とも職員間のコミュニケーションの活性化など、職場の環境づくりをさらに進め、再発防止に努めたい。

公明党

福祉就労障害者の

賃金アップへの取り組み

問 本年4月施行の「障害者優先調達推進法」により障害者就労施設等からの物品等の優先調達の方針が示されたが、福祉就労障害者の賃金アップのための取り組みについて伺いたい。

答 平成25年度の本市の調達方針を作成し、現在、公表の準備を進めているところである。また、障害者の店「は

あと屋」加盟事業所間の連携強化・効率的な運営を図るため協議会を本年4月に立ち上げた。今後は、同協議会を、これを構成する市内の障害者支援施設等と同様に、随意契約による発注が可能者とし、大量受注等にも対応し得る共同受注体制を確立したい。さらに、他都市の事例等を参考に、小型家電リサイクル事業における再資源化に係る作業の一部を障害者支援施設等が担う可能性を含め、新たな業務等の創出に積極的に取り組



▲ベルナード観光通りにある「はあと屋」

み、賃金アップを図りたい。

被爆遺構の指定文化財への取り組み

問 城山小学校被爆校舎を含む被爆遺構4件が「長崎原爆遺跡」として正式に国の文化財に登録されたが、今後、指定文化財にするためにどう取り組んでいくのか。

答 今回登録された被爆遺構は、日本の歴史を理解し、被爆の実相を後世に伝えていく上で、極めて重要な資産であるため、指定文化財を目指したい。指定文化財は、史跡、名勝、天然記念